

# 令和2年度(2020年度)第1回 吹田市新・放課後子ども総合プラン運営会議議事録

1 開催日時:2月17日(水)～3月5日(金)

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面開催として実施。

2 開催方法:吹田市新・放課後子ども総合プラン運営会議設置要領に基づきアンケートを作成し、各委員に意見を求め、回答を集約。

3 意見提出者

委員 19名

木谷 美香	長井 浩	岡本 公助	国本 光弘	山根 正紀	堀 みどり	佐々木 康雄
村上 弘明	光田 修平	小松 睦	矢野 哲也	大中 勇	豊留 由美子	藤川 泰子
柏渕 真理子	東條 カオリ	雑部 麻美	元田 紀代	大谷 三千葉		

4 資料 吹田市新・放課後子ども総合プラン運営会議設置要領  
令和元年度 実施結果、令和2年度12月末現在 実施状況  
けが報告

教育コミュニティ紙「教育コミュニティNEWS 北東西南 2020」

5 議事(アンケート)事項

## 1. 今年度の事業(業務、活動)実施状況

①事業(業務)全般について(自由記述)

②実施が可能だった事業(業務、活動)について

- ・事業名、内容
- ・感染予防対策
- ・工夫した点や課題と感じた点など

③実施を見合わせた事業(業務)や活動、またその理由

④その他(①②③ではあてはまらないことなど、自由記述)

## 2. 来年度以降、事業や活動をするにあたり考えられる課題や対策など(自由記述)

6 議事録

1. 今年度の(業務・活動)実施状況

	回答内容	
1	<p>新型コロナウイルス感染症による臨時休業から始まり、6月に学校が再開されてからも各校では、感染防止対策徹底のため、過去に例のない対応を余儀なくされた。マスク着用や手指の消毒はもちろん、授業の中でのグループ学習や音楽の合唱や楽器演奏、体育や休み時間、課外クラブ・部活動等での接触を伴う活動も制限され学校行事も様々な制限の中での実施となった。</p> <p>学校の規模等に応じて、複数回に分けての運動会実施や、音楽会はクラス別に録画をして鑑賞をするなど、本当に様々な工夫をしながら各校、児童・生徒の学習成果の発表の場を設けていた。</p> <p>子供たちにとっても、不安を抱え我慢をしたり、ストレスが溜まる1年だったと思うが、その中でも友達と過ごす時間の大切さや、一緒に勉強することができる喜びを感じながら元気に学校生活を送り、令和2年度の履修内容については、全校で終了見込みとなっている。</p>	学校教育室

2	<p>児童会館・児童センターについては、緊急事態措置解除後の6月1日から、感染防止対策を講じながら人数と時間、実施内容を縮小して開館し、感染状況をみながら、段階的に利用時間と対象者の範囲、実施内容を拡大した。</p> <p>10月からは、三密を避け、感染防止対策を講じながら幼児教室を再開した。人数を制限しているものの、各児童館も多数の利用者があり、感染防止対策については、開館直後と閉館前に施設の清掃及びエタノールによる消毒の実施や、利用者にも検温と健康チェック、手洗いと手指の消毒を行っている。</p>	子育て政策室
3	<p>2学期開始後、フレンドさんと打ち合わせをして10月から開始となった。</p> <p>開始日の活動日誌には、「コロナで今まで中止でしたが、色々な事に注意・配慮しながらの開催です。子供たちも待っていてくれた様で、外でのびのびと遊んでいた。約束を守って参加してくれている。」とフレンドさんより報告があった。</p> <p>この後、12月最終水曜日は中止としたが、10～12月で合計10回開催し、コロナ対策としては、手洗い、マスク、終了後の消毒等を実施した。</p> <p>開催を再開して、子供たちが太陽の広場を楽しみにしている事や、中止になったときには、少し残念そうにしながら帰って行く姿を見て、今までの取り組みが、“水曜の午後は遊べる”という文化となって根付いていると感じた。</p> <p>今年度の残りについても、緊急事態宣言が解除され、フレンドさんが対応可能だということであれば、感染対策を行いながら開催したいと考えている。</p>	小学校
4	<p><b>①事業(業務)全般について(自由記述)</b> 今年度は太陽の広場を、9月～12月の毎水曜日の放課後に実施</p> <p><b>②実施が可能だった事業(業務、活動)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名、内容 太陽の広場</li> <li>・感染予防対策 始めと終わりに手洗いの徹底 ハンドソープとアルコールの常備 マスクの着用を促す</li> <li>・工夫した点や課題と感じた点など 感染予防について、全体での危機感の共有を図るのが難しい</li> </ul> <p><b>③実施を見合わせた事業(業務)や活動、またその理由</b> 1～3月の太陽の広場は、緊急事態宣言により中止</p>	小学校
5	<p><b>①事業(業務)全般について(自由記述)</b> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年行われていた太陽の広場との連携ができなくなる期間があった。学校施設の共用についても、人数制限を設ける必要がある中、担当者には調整に大変ご苦勞をおかけすることとなった。今後も、まだしばらくこの影響が続く見通しだが、できる範囲でこれまで通り連携しながら、子供が安心して活動できる場を一緒に作っていただけたらと思う。</p> <p><b>②実施が可能だった事業(業務、活動)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名、内容 太陽の広場との連携、活動</li> <li>・感染予防対策 吹田市留守家庭児童育成室における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルにそって、感染症対策の徹底</li> <li>・工夫した点や課題と感じた点など 施設共用の点について、事前に太陽の広場と育成室の使用について調整が必要だったこと</li> </ul> <p><b>③実施を見合わせた事業(業務)や活動、またその理由</b> 合同避難訓練・・・密になるのを避けるため</p> <p><b>④その他(①②③ではあてはまらないことなど、自由記述)</b> 例年のことではあるが、太陽の広場と育成室の児童と一緒に活動をする場合、けがをした時の情報共有に課題がある。誰に報告すればいいのかなど、事前に</p>	放課後子ども育成課

	明確にしておく必要がある。	
6	<p><b>①事業(業務)全般について(自由記述)</b> 緊急事態宣言中以外は市PTAの会議を開催、レッドゾーン中は中止またはオンラインでの開催。その他、人が集まる活動はすべて中止。</p> <p><b>②実施が可能だった事業(業務、活動)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名、内容 PTAの活動はほぼ会議のみ 地域では青少年対策委員会主催でのティボール大会(10月)</li> <li>・感染予防対策 検温、消毒、人数制限、飲食なし</li> <li>・工夫した点や課題と感じた点など 初めてのことなので課題なのか、もっと工夫が必要なのかなど判断がつけられない。</li> </ul> <p><b>③実施を見合わせた事業(業務)や活動、またその理由</b> 市PTA大会を見合わせた (今後、必要なか内容も含めて一年議論できた)</p>	吹田市PTA協議会
7	<p><b>①事業(業務)全般について(自由記述)</b> コロナ禍で、こどもプラザ事業の中止、開始の遅れなどがあったので子供たちも居場所の一つがなくなりさみしい思いをしたのではないかと感じた。太陽の広場が休止している間に、子供たちから開催を望む声が上がっていると聞くことがあった。</p> <p><b>②実施が可能だった事業(業務、活動)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名、内容 太陽の広場(外遊び、人数制限ありの学習) 地域の学校(感染予防の観点から対面で行う講座や、密が予測される講座、料理教室などを除く)</li> <li>・感染予防対策 マスクの常時着用、手洗い(手指消毒)、密を避ける、を指導 よく触れる場所や道具等の消毒 受付の場所や動線の工夫 終了時、フレンドが名前記入(共用のものにできる限り触れない)</li> </ul> <p><b>【工夫】</b> 感染予防を呼びかける掲示物の作成 遊具の制限 受付、ランドセル置き場の場所の変更 学習室の子供の配置➡距離をとる、対面で着席をしない 雨天時は、太陽の広場は中止</p> <p><b>【課題】</b> 受付での密を避けたいが、動線確保が難しい広場があった 学習時の密を避けるための部屋の確保やフレンドの配置が困難な広場があった</p> <p><b>③実施を見合わせた事業(業務)や活動、またその理由</b> <b>【密を避けるため】</b> 合同避難訓練、活動プログラム 普段から人気の高い創作活動(アイロンビーズ、ビーズ、折り紙) 青少年指導者講習会、フレンド連絡会</p>	こどもプラザ運営指導員
8	<p><b>①事業(業務)全般について(自由記述)</b> 緊急事態宣言発出により事業が中止となり、コロナ禍の中、中止する期間が長くて残念だった。 緊急事態宣言などの影響により開催期間は3か月程度であった。</p> <p><b>②実施が可能だった事業(業務、活動)について</b></p>	太陽の広場 ブロックアドバイザー

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名、内容 太陽の広場(9～12月)</li> <li>・感染予防対策 マスク着用、手洗い、三密の回避 机などの消毒、大声を出さないよう指導</li> <li>・工夫した点や課題と感じた点など 遊具の共有を避ける・アルコール消毒の励行・フレンドさんの増員、 机の間隔をあける・一定方向を向いた活動・雨天時の開催中止 マスク着用、手洗い、三密をさける等の注意点を子供たちに分かりやすい ように掲示物を作成</li> </ul> <p><b>③実施を見合わせた事業(業務)や活動、またその理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言中の太陽の広場の活動停止</li> <li>・留守家庭児童育成室との合同避難訓練</li> <li>・活動プログラム・フレンド連絡会の見合わせ</li> </ul>	
9	<p><b>①事業(業務)全般について(自由記述)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の放課後、子供たちの遊びの見守り</li> <li>・フレンドの活動は14時～17時</li> <li>・年間15回程度開催のところ、コロナの影響で6回であった。</li> <li>・コロナの影響で子供たちに制限をすることが多くなり、かわいそうな思いをさせているのではないかと思う。</li> </ul> <p><b>②実施が可能だった事業(業務、活動)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名、内容 太陽の広場 放課後、運動場にて子供たちの遊びの見守り 屋外活動のみ実施</li> <li>・感染予防対策 受付時の密を避けるため、運動場にランドセル置き場を設置し、そのまま 運動場で学年ごとに受付 子供たちフレンドともにマスク着用、手洗いの徹底 終了時には、トイレなどの消毒作業 なるべく密を避けて遊ぶよう声かけする</li> <li>・工夫した点や課題と感じた点など 受付時の密を避けるため、予め渡した出席表を自宅で記入し、受付でフレ ンドさんに渡すようにした。この方法は、かなり定着してきたが、まだ出席表を 書いてこない子供もおり、浸透するまで時間がかかる。 人数が多いので、遊べる日を奇数学年・偶数学年と分け、なるべく密を避ける 動線作りをした。 ランドセル置き場はブルーシートを学年ごとに設置し、受付も学年ごとにカラ ーコーンで並ぶ場所を分けた。 マスクの徹底の声かけをしたが、夏場などは暑さからマスクを外す子供たちも 多く、熱中症対策とのバランスが難しいと感じた。</li> </ul> <p><b>③実施を見合わせた事業(業務)や活動、またその理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図工室での工作 参加者が多く、図工室内の密を避けることが不可能で、はさみやのりなど道 具を共有する活動であるため。</li> <li>・室内で宿題や、オセロ・将棋など、密を避けるため室内で遊ぶのを中止した。</li> </ul> <p><b>④その他(①②③ではあてはまらないことなど、自由記述)</b></p> <p>緊急事態宣言が発出される中で、実施を見合わせたり、再開したり、という決 定が直前になったが、青少年室や学校との連携がうまくいき、子供たちへの連 絡もスムーズにできた。 感染の恐怖や不安から子供たちの参加も心配されたが、実施日には多くの参</p>	太陽の広場フレンド

	加があり、開催を本当に楽しみにしてくれていると感じた。																			
10	<p><b>①事業(業務)全般について(自由記述)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との連携を取ることが最優先で、前半は十分な活動が困難であった</li> </ul> <p><b>②実施が可能な事業(業務、活動)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名、内容 太陽の広場</li> <li>・感染予防対策 マスク着用は当然 こまめな消毒作業を行った</li> </ul>	地域教育協議会																		
11	<p><b>①事業(業務)全般について(自由記述)</b></p> <p>休校中は、感染対策を留意した保育を行い、特に昼食時、おやつ時には向かい合わせにならないよう横並びで、1つの机に3名までとした。</p> <p>通常の半数にする必要があったため、時間を2回に分ける等、班を分解した保育を実施し、配膳はすべて指導員が行うようになった。</p> <p>緊急事態宣言中はひと部屋での保育は25名までとされ、それを超えた場合には学校と連携し、他の部屋を借りるなど配慮をしたり、体調不良の場合の対応など、ご家庭への理解を何度も促した。</p> <p>子供たちには手洗い・マスク着用の大切さをその都度話し合った。</p> <p>40名の欠員がある中での対応は補助員の代替で補った。</p> <p><b>【実施状況】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学校</th> <th>留守家庭児童育成室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/8～</td> <td>臨時休校</td> <td>1日保育</td> </tr> <tr> <td>5/11～</td> <td>自習の見守りの実施 (午前のみ)</td> <td>午後から保育実施</td> </tr> <tr> <td>6/1～</td> <td>分散登校</td> <td>1日保育</td> </tr> <tr> <td>6/15～</td> <td colspan="2">通常登校</td> </tr> <tr> <td>夏期休業中</td> <td>中学年以上 補填授業</td> <td>1日保育</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>②実施が可能な事業(業務、活動)について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業名、内容 各育成室での学級内行事(育成室の子供だけでする行事)はそれぞれの状況により開催の判断を委ねられ、けん玉などの遊びや班がえ、保護者との学級懇談会などは例年通りには実施できなかったが、その時にできることを試行錯誤して行うなどした。</li> <li>・感染予防対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 放課後子ども育成課との調整により現場指導員が中心となって「吹田市留守家庭児童育成室における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を11月に策定し、マニュアルに沿った保育を実施している。</li> <li>* 畳・床・ロッカー・机・扉の開閉時にふれる箇所・トイレ等を毎日消毒。</li> <li>* 子供たちにも手洗いと、夏期の屋外活動以外でのマスクの常時着用を徹底させた。</li> </ul> </li> <li>・工夫した点や課題と感じた点など <ul style="list-style-type: none"> <li>* 市民感情も考慮しながら、不安だけに流されることなく、子供たちの発達・成長にとって何が必要か、それは感染症対策(例:密にならないか)を保てるのか等を、それぞれの活動や状況ごとに検討し判断していった。</li> <li>* コロナ禍で保育を見失わないよう、育成課主動による研修「新型コロナウイルス感染症に係る各育成室の対応について」をもって、全育成室で年度途中の保育の振り返りなどを行い、不足しているところを補うようにした。</li> <li>* 常時換気をしていたため、夏期はエアコンをかけても室温が下がらず外気温と同じになってしまった。また、網戸がなく張替え用の網を窓からつるして対応した。</li> </ul> </li> </ul>		小学校	留守家庭児童育成室	4/8～	臨時休校	1日保育	5/11～	自習の見守りの実施 (午前のみ)	午後から保育実施	6/1～	分散登校	1日保育	6/15～	通常登校		夏期休業中	中学年以上 補填授業	1日保育	留守家庭児童育成室
	小学校	留守家庭児童育成室																		
4/8～	臨時休校	1日保育																		
5/11～	自習の見守りの実施 (午前のみ)	午後から保育実施																		
6/1～	分散登校	1日保育																		
6/15～	通常登校																			
夏期休業中	中学年以上 補填授業	1日保育																		

	<p><b>③実施を見合わせた事業(業務)や活動、またその理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数で密集する行事・活動⇒デイキャンプ・全体での卒室式</li> <li>・育成室外と交流する行事・活動⇒学級懇談会・各育成室でのカーニバルなど</li> <li>・食べ物に触れる活動⇒おやつ当番</li> <li>・郊外保育を伴う行事・・・公共交通機関を利用するため</li> <li>・昼食づくりやおやつづくり・・・密になるのを避けるため</li> <li>・他団体との交流行事・・・クラスター発生を防ぐため</li> </ul> <p><b>④その他(①②③ではあてはまらないことなど、自由記述)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクの着用・しっかり手洗い・食事中に喋らない等、徹底しきれはしないものの、子供たちとしても“守らなければならないもの”としての意識は根付いてきている。</li> <li>・保護者に直接学級の様子を伝える場がないため、お便り等に詳しく記載した。</li> <li>・日本の学童はいく誌『「新型コロナウイルス感染症」-学童はいくの生活づくり』に[吹田市留守家庭児童育成室における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル]をもとに吹田市におけるコロナ禍での保育生活・運営について掲載されている。</li> </ul>	
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

2. 来年度以降、事業や活動をするにあたり考えられる課題や対策など(自由記述)

	回答内容	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は臨時休業の影響があり、履修内容を年度内に終わることを優先して教育課程の編成を行ったが、令和3年度は、中学校でも新学習指導要領が実施されることから、「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに、各中学校ブロックの特色を生かしながら取り組んでいく予定である。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き懸念されるが、新しい生活様式のもと、感染症対策を講じながら、教育活動については、「実施しない」ではなく、「どのようにすれば実施できるか」を考えながら、子供たちの心身共に健全な育成に向けて取り組みを進めていく。</li> </ul>	学校教育室
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の児童数は、昭和56年度の約3万6千人をピークに令和2年度で約2万1千人とピーク時と比べては減少しており、中学校もほぼ同様な傾向である。しかし、平成13年ごろから大型開発などで増加傾向となり、今後約10年間は伸びる見込みである。直近では、全体的には昨年度と比べて微増となっているが、大型開発がある地域については、児童数の増加が見込まれ、令和8年度において31教室以上となる小学校が複数想定される一方、クラス数が1桁となる想定の小学校も見込まれている。</li> <li>・令和3年2月2日に公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律の一部を改正する法律案が国会提出された。小学校における学級編制を令和7年度までに、35人に段階的に引き下げることとなる。この影響で特に令和8年度までに、多くの小学校で教室不足となる見込である。この学級編制で直接的に児童数が増えるものではないが、普通教室を確保するためには、校舎の新築増築だけでなく、通学区域の見直しの必要性も含め、あらゆる角度から検討する必要がある。</li> </ul>	教育政策室
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況により、活動が制限される可能性があるため、担当課と現場、担当課同士の緊密な連携と情報共有が重要となる。</li> </ul>	放課後子ども育成課
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月以降は、利用時間を30分拡大する予定にしている。今後も感染防止対策を講じながら、児童館を運営していく。</li> </ul>	子育て政策室
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽の広場はフレンドさん(主に地域の方々)に担っていただいているが、その方たちへのコロナ感染防止対策が重要であると考えている。子供は感染しにくいといわれているが、50才代以上は十分な感染対策をとる必要がある。このような</li> </ul>	小学校

	<p>状況で、フレンドさんの中でも、見守りをしたい人と、(感染が気になるので)見守りしたくない人の両方がいると思うが、どちらも尊重しながら、各学校で進めていく必要がある。大変むずかしい問題ではあるが、来年度以降も、どの太陽の広場も無理のないように進めてもらいたいと願っている。</p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡会議を通じての、対策等の共有をより綿密にする。</li> </ul>	小学校
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨機応変に、それぞれの事業に合わせた様々な対策が必要だと思った。全ての行事を中止せず実施できる、良い方法を考える必要があると思った。</li> </ul>	吹田市 PTA 協議会
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も、今年度と大きな変化はなく、「マスクの常時着用」「手洗いの徹底」「共用の部分の消毒」「密を避ける」などの感染防止対策は継続となる。</li> <li>・暑い時期のマスクの徹底は熱中症にもつながりやすいので対応にも注意が必要となってくる。また、今年度出来なかった活動について、来年度可能にできるようになるか、なども模索していく。</li> </ul>	こどもプラザ運営指導員
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症の予防対策 マスク着用による夏場の活動 エアコンの未設置教室での活動</li> <li>・雨天時の実施について どのように開催していくのかが課題 開催できるように考えていきたい フレンドの人数を増やすことができれば対応できるのではないかと</li> <li>・フレンドの人数増員と謝礼金の増額と金額改定</li> </ul>	太陽の広場 ブロックアドバイザー
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は遊ぶ場所、遊具も限られているが、しっかり感染対策をとりながら状況に応じて少しずつ増やしていけたらいいと思う。引き続きコロナ感染防止対策をとりながら、子供たちの遊びを安全に見守ることを心がけていきたい。その中で新たな遊びの提案など、今年の活動を踏まえて考えていきたいと思っている。またフレンドの人数を増やし、一人ひとりの負担を軽減できるよう考えていく。</li> </ul>	太陽の広場 フレンド
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の現状をしっかりと踏まえ、バランスの取れた運営ができるよう注視していきたい。</li> </ul>	地域教育協議会
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と直接顔を合わせる機会が極度に減り、また、マスクをしているため、保護者の顔が覚えにくくなり、保護者の考えが読みづらいことが多かった。関係構築が未熟であった保護者との関係づくり、また、保護者同士のつながりができなかったことが、トラブルが起こった時の対処の仕方にも影響があるのではないかと危惧している。</li> <li>・新規採用職員以外、指導員の研修が全くなかったので特に若いキャリアの専門性の獲得に支障が出る。</li> <li>・コロナ禍の対応について、年度当初の一番大変な時に、情報を共有する場がなく、各育成室の指導員がそれぞれに悩み、孤立している状況があった。今年度は研修も行っていない。コロナ禍の対応について周知を繰り返しても、認識のズレが見られ、難しい現状がある。</li> <li>・「新型コロナウイルス感染症に係る各育成室の対応について」により、年度途中で保育を振り返ることができ、今後のコロナ禍での保育もある程度見通しを持って行えるだろう。来年度以降は、感染症対策をしながらの保育年間計画を立てることになる。(集団づくり・生活・あそび・おやつ・行事・安全衛生健康管理・保護者及び他機関との連携)</li> </ul>	留守家庭児童育成室